

パンケーキの国で

子どもたちと見たデンマーク

伊藤美好

平凡社

2001年11月12日配本 / 定価：本体1,600円(税別)

四六判 296ページ ISBN4-582-82437-4

「こうだったらいいな」があたりまえの国がある！？

デンマークでは、14歳になるまでテストも成績表もない。学校に子どもを行かせる義務もない。そんな話を聞いて、そこに暮らすふつうの人たちの考え方や日常のようすを知りたくなった主婦が、3人の子どもとデンマークに渡った。母親は伝統的な全寮制の成人学校である国民高等学校（フォルケホイスコーレ）と大学で学び、子どもたちは現地の公立小学校に通い、2年余りをデンマークで過ごすことになる。

その生活の中で出会った多くの人たちとの交わり、授業のようす、町を歩いて気づいたことが、魔女の人形を焼く夏至祭やクリスマスを待つ日々などの四季の移り変わりとともに、50点余りの写真を添えて綴られる。

一人ひとりがなにをしたいかを出発点とし、あらゆる問題について徹底的に話し合い、意見を聞きあって、みんなが納得できるところを探していく、デンマークの社会。教育にも福祉にもそうした考えが貫かれているようすと、その歴史的背景が、日常のごくありふれた光景から生き生きと描かれる。

伊藤美好（いとうみよし） 1956年生。京都大学文学部史学科卒業。東京都在住。

その時々におもしろいと感じたことについて学ぶことが好き。

帰国後は、子どもの権利条約、国際人権規約などの分野に興味を持ってかかわっている。

共著に『笑う不登校』（教育史料出版会）1998。

お問い合わせは編集担当森まで

電話 03-3818-0646 / FAX 03-3818-0754